

# どうなる憲法、どうする憲法—野田内閣となって 武器輸出3原則見直し、武器使用基準緩和など、動き“急”！

「あいち医師・歯科医師九条の会」第12回憲法の集い

## どうなる憲法、どうする憲法 ～野田内閣となって～



講 師 森 英樹 氏

(名古屋大学名誉教授、あいち九条の会代表世話人、憲法学)

と き 10月22日(土)午後3時～5時

と こ ろ 愛知県保険医協会伏見会議室

(名古屋市中区錦1-13-26、名古屋伏見スクエアビル9階、電話052-223-0415)

民主党政権として「3代目」の野田内閣となってだんだん「憲法」も危うくなるのではとの危惧も生まれています。憲法学の森英樹氏を迎えて、野田政権となって憲法をめぐる情勢がどうなってゆくのか、学びます。

### 参加協力費：

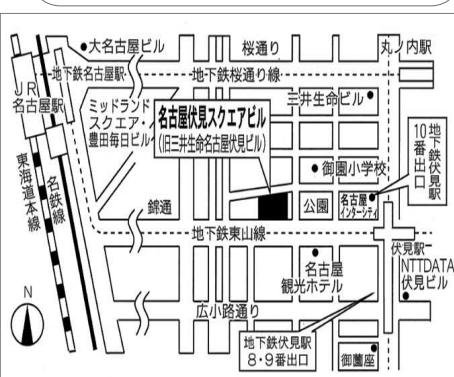
医師・歯科医師 1000円  
一般市民 500円

主催：あいち医師・歯科医師九条の会

連絡先：名古屋市昭和区妙見町19-2  
愛知県保険医協会会員付  
FAX 052-834-3512 電話 052-832-1345

共催：愛知県保険医協会

**森英樹（もりひでき）氏 プロフィール**  
1942年三重県生まれ。京都大学法学部卒。  
名古屋大学大学院法学研究科修士課程修了。  
名古屋大学法学部教授・同大学副総長、龍谷大学大学院法務研究科教授を歴任。『憲法の平和主義と「国際貢献』（新日本出版社）、『現代憲法講義』（法律文化社）、『新版・主権者はきみだ』（岩波ジュニア新書）など著書多数。



民主党政権三人目の首相となつた野田佳彦氏は、九月一三日開会された臨時国会で、就任後初めて所信表明演説。外交・安全保障について、「日米同盟はわが国外交・安全保障の基軸」「世界の安定と繁栄のための公共財」とした。

そして「日米同盟関係は、大震災での“トモダチ作戦”を始め、改めてその意義を確認」と述べ、「首脳同士の信頼関係を早期に構築し」「二一世紀にふさわしい同盟関係に進化・発展」させるとした。

これに先立ち九月七日に民主党前原政調会長は、ワシントンでの日米同盟に関するシンポジウムで講演。日米同盟の深化や日本の国際平和協力活動の強化に向け、武器輸出三原則を見直し、自衛隊の海外派遣時の武器使用基準を緩和する必要があると表明した。

